

令和3年度 岡山学芸館高等学校 選抜 1 期入試【1月28日】 解答解説（社会）

1

【正解】 ① エ ② 関東ローム ③ エ ④ ウ
⑤ (例)政府の機関や企業の本社などが多く、情報が集まりやすいため。 ⑥ イ

【解説】

- ① アの群馬県は前橋市、イの栃木県は宇都宮市、ウの茨城県は水戸市、エの千葉県は千葉市が県庁所在都市である。
- ③ 大消費地である大都市に向けて、その郊外で野菜を生産して出荷する農業を近郊農業という。農地と市場の距離が近いため、より新鮮な野菜を市場に並べることができる利点がある。千葉県や埼玉県、茨城県でとくにさかんであり、ねぎやほうれんそう、こまつななどの野菜を中心に栽培されている。
- ④ X(太田市)は北関東工業地域(関東内陸工業地域)、Y(川崎市)は京浜工業地帯、Z(市原市)は京葉工業地域を代表する工業都市である。京葉工業地域は化学工業がとくにさかんである点、内陸の北関東工業地域(関東内陸工業地域)は化学工業があまりさかんでなく、機械工業がさかんであることから、XがB、YがC、ZがAに当てはまる。
- ⑥ 関東地方は、東京都に向かって多くの人が通勤・通学しているため、東京都の夜間人口は昼間人口よりも少なくなる。また、東京都からやや離れている群馬県、栃木県、茨城県は、夜間人口と昼間人口の差が小さくなっている。したがって、(W)はイ、(X)はア、(Y)はエ、(Z)はウが当てはまる。

2

【正解】 ① 証券取引所 ② (例)地方公共団体などが設立し、公共の利益のために活動する ③ ウ
④ 団体交渉権 ⑤ ア ⑥ ウ

【解説】

- ① 株式会社の株式は、原則として売買することができる。一定の条件を満たした企業の株式は証券取引所で売買され、日々株価が変動する。
- ② 公企業には、地方公共団体によって運営される水道やガス、バスなどの事業のほか、独立行政法人である造幣局や国立印刷局などもある。
- ④ 労働基本権(労働三権)は、労働者が労働組合を結成する権利(団結権)、労働組合が使用者と賃金や待遇などについて話し合う権利(団体交渉権)、交渉がまとまらない場合にストライキなどを起こす権利(団体行動権)の総称で、社会権にふくまれる。社会権には、労働基本権(労働三権)のほか生存権、勤労の権利、教育を受ける権利がある。
- ⑤ 衆議院は参議院よりも任期が短く解散があるため、有権者の意思が反映される選挙の機会が多いことから、参議院よりも優越した権限が与えられている。法律については、衆議院が可決した法律案を参議院が否決した場合、衆議院が出席議員の3分の2以上の多数で再可決すれば法律となる。ウの両院協議会は内閣総理大臣の指名などについて衆議院と参議院が異なった場合に必ず開かれるが、法律案は任意で開催される。エの公聴会は、委員会での審議の際に有識者や利害関係者を呼んで話を聞く会である。
- ⑥ X…銀行は、顧客から集めた預金を元手として、資金を必要とする個人や企業に貸し出しを行っている。このとき、貸し出しの利子を預金の利子よりも高くすることで、その差額が銀行の利益となる。

3

【正解】 ① イ ② 口分田 ③ エ(→)イ(→)ウ(→)ア
④ (1) (例)自由に商売をすることを認め、商工業をさかんにするため。 (2) ア

【解説】

- ① アは、大和政権(ヤマト王権)の勢力範囲は九州地方から東北地方南部までであったので誤り。ウの富本銭や和同開珎は飛鳥時代につくられるようになったので誤り。エの渡来人は、朝鮮半島から集団で移り住んだ人々のことなので誤り。渡来人は須恵器をつくる技術や機織りの技術、儒教(儒学)、仏教、漢字などさまざまなものを日本にもたらした。
- ② 班田収授法で農民に与えられた土地を口分田という。口分田の支給の根拠となるのは戸籍であったが、重い負担を逃れて戸籍をいつ

わったり、口分田を捨てて逃亡したりする農民が増え、平安時代初めにはすたれてしまった。

③ エ(弥生時代)→イ(鎌倉時代)→ウ(室町時代)→ア(江戸時代)の順となる。

④(1) 室町時代の商工業者は座を結成し、武士や貴族、寺社に税を納める代わりに営業の独占を認められていた。また、各地に關所が設けられ、通行料を徴収していた。織田信長はこうした状況を打ち破るために、安土の城下町では座の特権を廃止し、自由な商売を認めることで商工業を活性化させようとした。

4

【正解】 ① 大西洋 ② ウ ③ ア
④ さとうきび ⑤ イ ⑥ ア

【解説】

- ① Xは、アフリカ大陸と北アメリカ大陸の間にあることから、大西洋であると判断する。
- ② 地球一周の長さを約40000kmとすると、図1の中心から一番外の円周までは約20000kmとなり、同心円は内から5000km、10000km、15000kmを示している。アビジャンは15000kmよりもやや中心に近いところにあるので、東京とアビジャンの距離は約14000kmとなる。
- ④ Zはブラジルである。ブラジルではさとうきびを原料としたバイオエタノール(バイオ燃料)の生産がさかんに行われている。
- ⑤ 北アフリカのほか、ナイジェリア周辺などに多く分布していることから、原油(石油)であると分かる。
- ⑥ Aはエジプト、Bはコートジボワール、Cはケニア、Dは南アフリカ共和国である。Aのエジプトはイスラム教徒が多いことから、豚の飼育頭数がきわめて少ないアが当てはまる。なお、Bのコートジボワールはエ、Cのケニアはイ、Dの南アフリカ共和国はウが当てはまる。

5

【正解】 ① (例)大名には、江戸と領国を1年ごとに往復する参勤交代が義務づけられていたため。
② 小売業者(小売店) ③ イ ④ ウ
⑤ (例)6歳以上のすべての男女が小学校に通うこととした。
⑥ 夏目漱石 ⑦ ア ⑧ エ ⑨ ウ(→)エ(→)ア(→)イ ⑩ エ

【解説】

- ① 3代将軍徳川家光の時代に、大名には江戸と領国を1年ごとに往復する参勤交代が義務づけられ、妻子は江戸に留めおくこととされた。参勤交代や江戸での滞在の費用は藩の財政に大きな負担となったが、一方では江戸の文化が地方に広まるきっかけとなったり、五街道を始めとする街道の整備が進むきっかけとなったりもした。
- ③ 江戸幕府は、佐渡金山、生野銀山、石見銀山、足尾銅山、別子銅山といった各地の鉱山を直接支配していた。
- ④ アの建武の新政は14世紀前半、イの摂関政治の全盛期は10世紀末から11世紀前半、ウの大化の改新の始まりは645年、エの蝦夷平定は8世紀末～9世紀初めのできごとである。したがってウが正解である。
- ⑤ 学制では、6歳以上のすべての男女が小学校に通うことを義務づけた。しかし、当時は子どもも農業の重要な働き手であったことや、授業料が家庭の負担であったことなどからなかなか就学率が上がらず、就学率が9割を超えるのは1900年ごろであった。
- ⑦ 近代の日本の経済を支えてきたのは製糸業で、生産された生糸はアメリカ合衆国などに輸出されていた。長野県は製糸業や養蚕業がさかんであったが、昭和恐慌で大打撃を受けた。恐慌によって農村が疲弊していたことで、長野県からは満州への集団移住がとくにさかんに行われた。
- ⑧ アの毛沢東は中国共産党の中心となり、第二次世界大戦後に中華人民共和国を建国した人物。イの孫文は辛亥革命を主導し、中華民国の臨時大統領に就任した人物。ウの蒋介石は第二次世界大戦のころに国民党の中心となった人物。エの溥儀は、清の最後の皇帝となった人物で、満州国の元首として迎えられた。
- ⑨ ウ(日独伊三国同盟、1940年)→エ(日ソ共同宣言、1956年)→ア(日韓基本条約、1965年)→イ(日中共同声明、1972年)の順となる。